

今秋から、玉川学園創立 80 周年を記念し、当館所蔵の美術資料の中から、イコンコレクションを公開する特別展を開催いたします。

イコンとは、ギリシア語のエイコン（肖像・似像）を語源とし、特に東方正教会で発達した聖像画のことをさします。ビザンティン美術の一流として発達したイコンは、8 世紀のイコノクラスム（聖像破壊）の受難を経たのち、11 世紀頃からのイコン崇拝の高まりとともに、ロシアやそのほかの東方正教会圏に広まりました。

正教会の信仰において、イコンは欠くことのできない存在で、聖堂内の聖障壁（イコノスタシス）におかれる大形のものから、家庭内で拝す比較的小形のものがあります。主題には、イエス、聖母、聖人、説話などの場面があり、一般的にはテンペラ技法を用いて木の板に描かれています。

イコンコレクションは、教育活動に資するため、創立 50 周年記念事業の一環として収集がはじまり、現在 71 点のイコンを所蔵するにいたりました。所蔵イコンは、これまで常設展や他館との共同主催による企画展などで紹介してきましたが、71 点すべて展示するのは、はじめての機会となります。展覧会では、イコンのもつ独特な美と崇高な世界をゆっくりと堪能していただくことができるように展示空間をつくりあげていく予定です。皆様のご来館をお待ちいたしております。



聖三位一体 ロシアイコン 16 世紀

玉川学園創立 80 周年記念特別展 イコン——聖像画の世界

【会 期】 2009 年 11 月 2 日（月）～ 2010 年 1 月 29 日（金）

【時 間】 9：00～17：00（入館は 16：30 まで） 入館無料

【休館日】 土曜日・日曜日、11 / 10～12、11 / 26、12 / 17～1 / 11
（11 / 7・8・14・15、12 / 5・6 を除く）

【交 通】 小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩 15 分

【問合せ】 042-739-8656（教育博物館事務室）

※ 11 月 15 日（13:30～14:45）に鐸木道剛氏（岡山大学大学院准教授）の講演会を開催いたします（予約不要）。場所は玉川大学 8 号館 123 番教室で、内容は「イコンとその歴史」を予定しています。

※ 12 月 5 日、および 1 月 22 日に、当館学芸員が展示資料を解説するギャラリートークを開催いたします（予約不要）。時間は 13:30 から 1 時間程度を予定しています。

第一次世界大戦が終結した後の大正時代末、我が国の経済状態は悪化し、国債残高は51億円余（内債36億円余・外債14億円余）に達していました。

1927（昭和2）年、この国難を打開するために、当時の内務省内に勤儉奨励婦人団体委員会が設置されました。勤儉力行・国力増進を目標として、1人1日1銭、6ヶ年据え置きの方法で貯蓄を奨励しました。これを愛国貯金運動と呼びました。

1933（昭和8）年、この運動が愛国婦人会へと引き継がれました。本資料「愛国貯金箱」はこの頃に作られたものと思われま

す。戦前の小学校には必ず建てられていた二宮金次郎像を貯金箱とし、子どもたちにも1人1日1銭の貯金を呼びかけたのでしょ

う。二宮金次郎は戦前の国定修身教科書に民間人として一番多く登場していたのです。二宮金次郎を知らない人はいなかったことでしょう。二宮金次郎像を貯金箱としたのは、彼が儉約を勧め、その人の置かれた分に

応じた暮らし方をすることを説いたりしたことが、愛国貯金運動の趣旨にあっていたからだと思われま



16.5 × 6.5 × 5.9cm 素焼きの軟質陶器に塗料